

2024年3月期（2023年度） 第2四半期 決算説明会

2023年11月21日

株式会社 指月電機製作所

(東証スタンダード/証券コード6994)

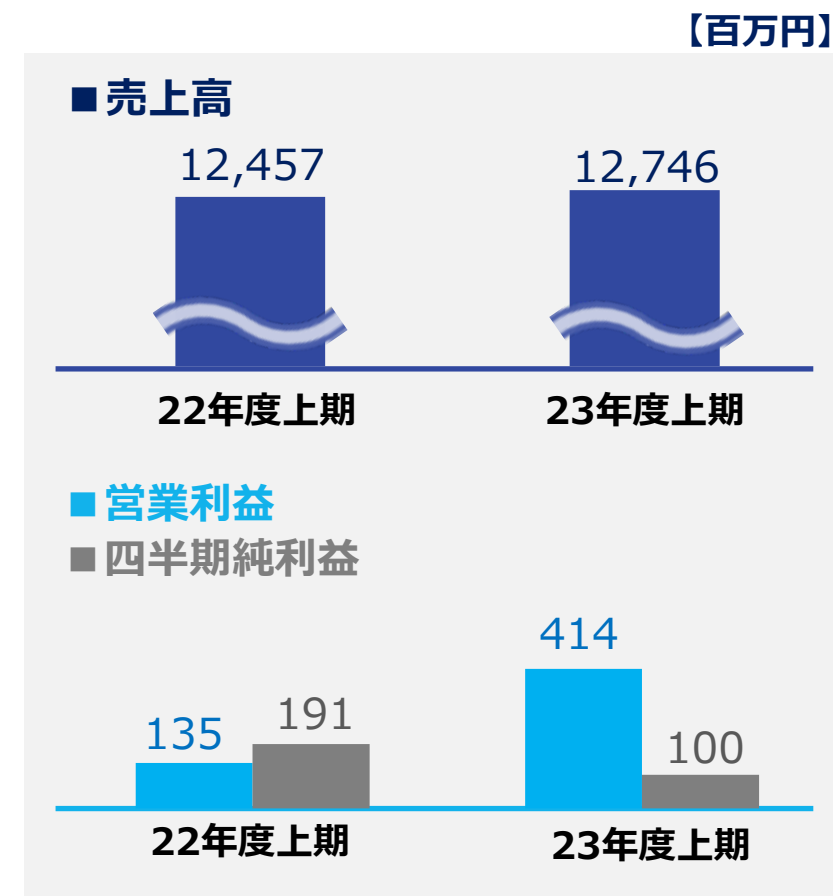
代表執行役社長 足達信章

- 1. 2024年3月期（2023年度）第2四半期 経営概況（総括）
2024年3月期（2023年度）通期 最新見通し**
- 2. 中期経営計画 第Ⅱ期の進捗と取り組み**

1-1. 2023年度 第2四半期 連結決算概要

- ▶ 売上高は、顧客の在庫調整の影響による x E V 用の減収があるも、産業／電力分野の太陽光用／電鉄車両用／電力品質向上用機器／力率改善用機器等の伸長により吸収し、全体で前年同期比2.3%増となり、上期としては、過去最高となる127億円を確保。
- ▶ 営業利益は、価格転嫁の進展や規模変動の影響等により前年同期比2.8億円増の4.1億円となった。

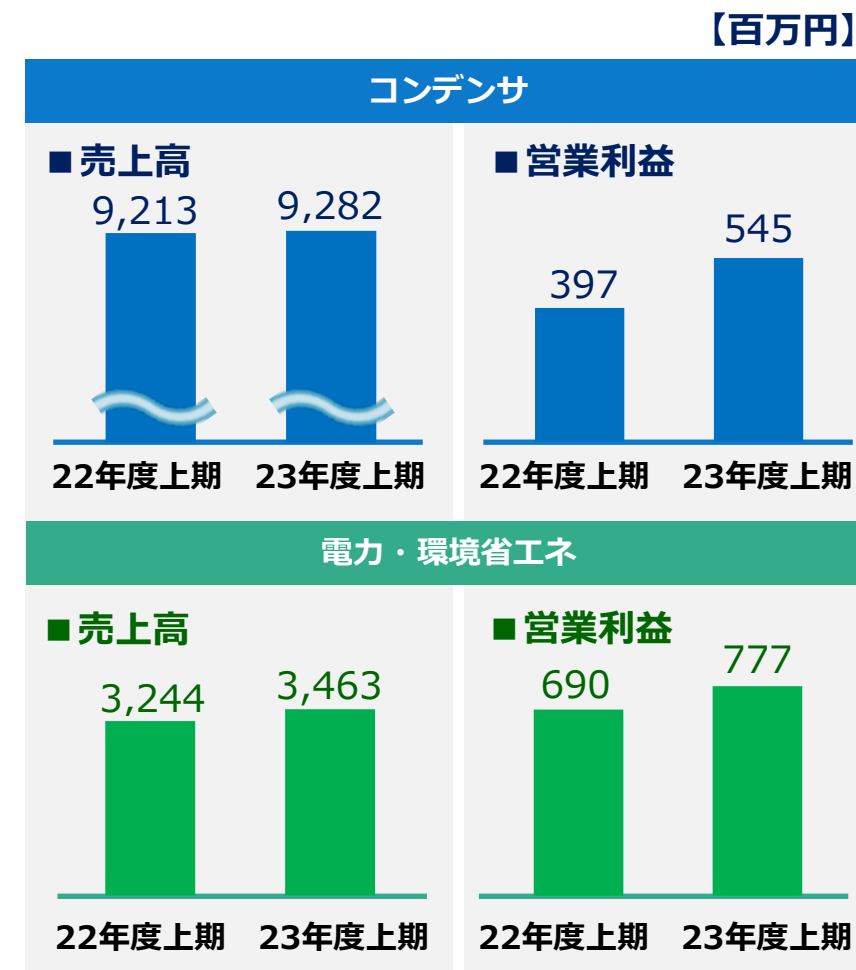
項目	2023年度 上期		前年同期比
	2022年度 上期 実績	2023年度 上期 前回予想 実績	
売上高	12,457	12,700 12,746	+289 (+2.3%)
営業利益	135	250 414	+279 (+206.1%)
営業利益率	1.1 %	2.0 % 3.3 %	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	191	30 100	▲91 (▲47.5%)



1-1. 2023年度 第2四半期 セグメント別実績

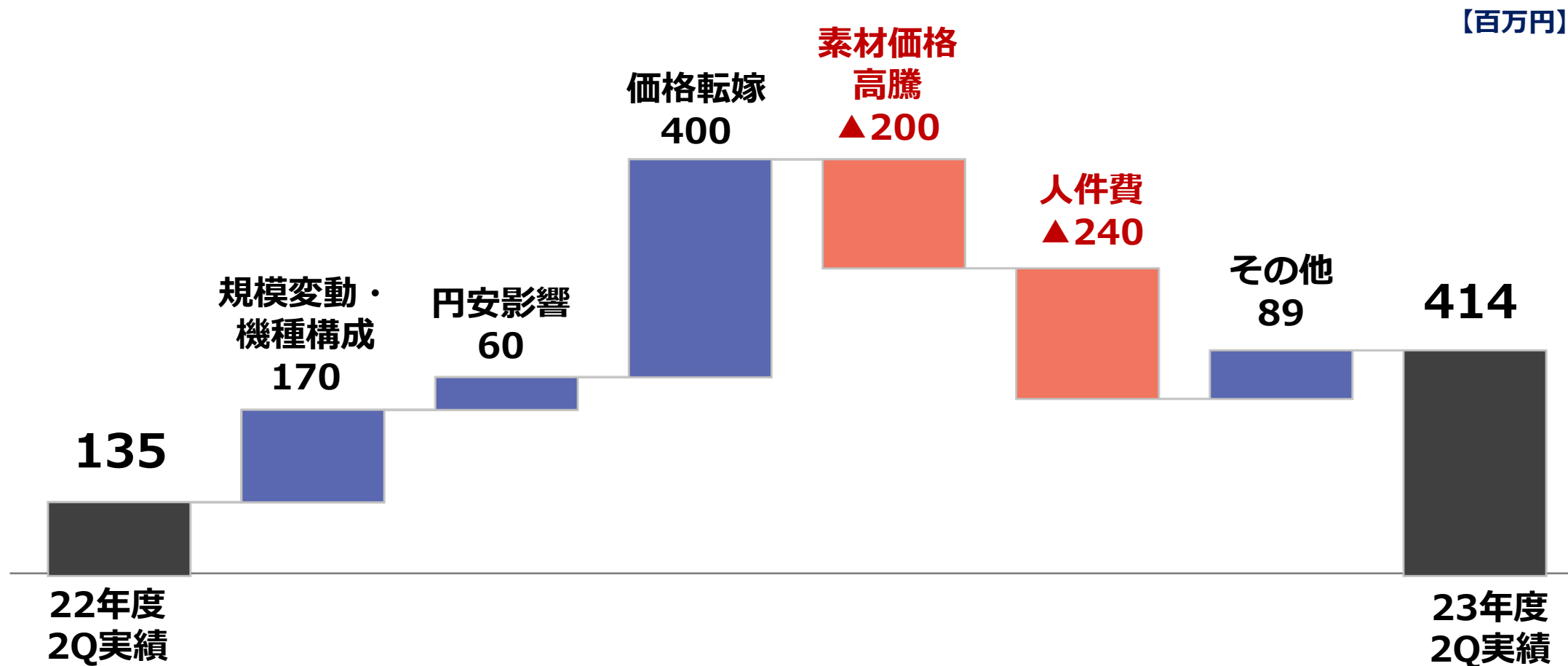
- ▶ コンデンサは、x E V用の減収を産業機器用コンデンサがリカバーし、売上高は前年同期比微増。営業利益は価格転嫁や規模変動等の影響により増益。
- ▶ 電力・環境省エネは、電力品質向上用や力率改善用機器の伸長により、売上高／利益ともに増加。

セグメント	項目	【百万円】		
		2022年度上期 実績	2023年度上期 実績	前年同期比
コンデンサ	売上高	9,213	9,282	+69 (+0.7%)
	営業利益	397	545	+148 (+37.4%)
	営業利益率	4.3 %	5.9 %	-
電力・環境 省エネ	売上高	3,244	3,463	+219 (+6.7%)
	営業利益	690	777	+87 (+12.6%)
	営業利益率	21.3 %	22.5 %	-
セグメント利益の調整額		▲952	▲908	-



1-1. 2023年度 第2四半期 損益変動分析

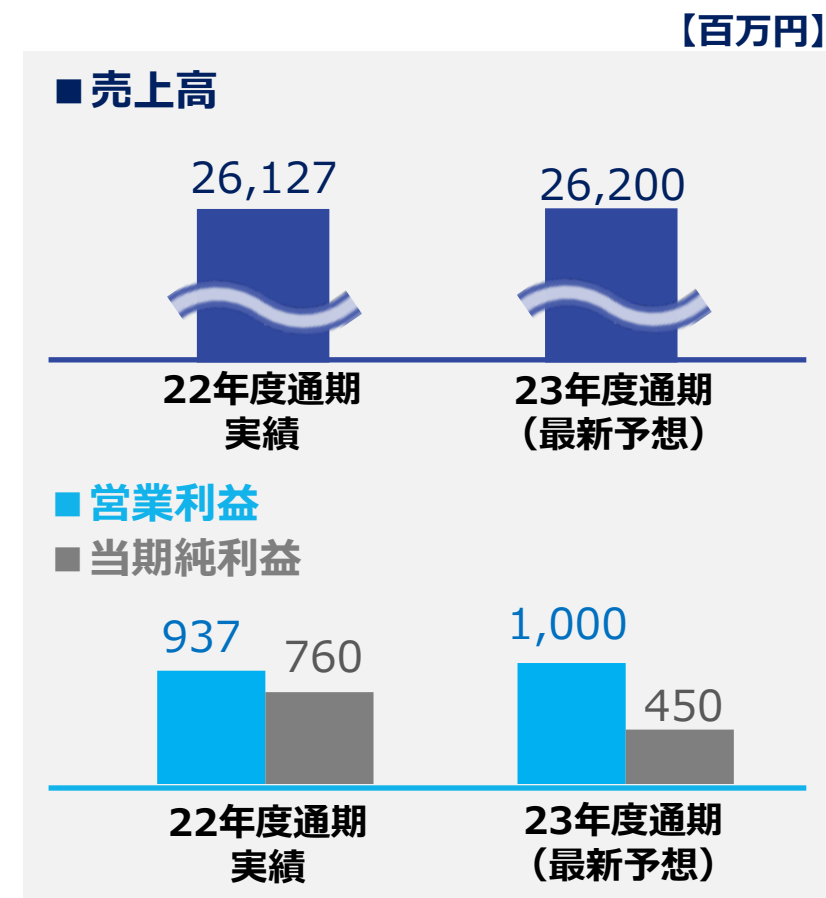
- ▶ 素材価格の継続的な高騰と人件費増加の一方で、価格転嫁の進展と規模変動や為替影響により前年同期比2.8億円の増益。



1-2. 2023年度 通期 連結業績予想

- ▶ 売上高は、産業／電力分野の拡大を見込むものの、x E V用の顧客在庫調整等の影響が引き続き見込まれ、対前年度比+0.7億円、前回予想を4億円下回る262億円に修正。
- ▶ 営業利益は、売上高規模の減少や価格転嫁の遅れ及び中期の生産体制整備の人件費増加により前回予想比▲6億円となる10億円に修正。

項目	2022年度 通期	2023年度通期		前年度比
		(前回予想)	(最新予想)	
売上高	26,127	26,600	26,200	+72 (+0.3%)
営業利益	937	1,600	1,000	+63 (+6.7%)
営業利益率	3.6 %	6.0 %	3.8 %	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	760	900	450	▲310 (▲40.8%)



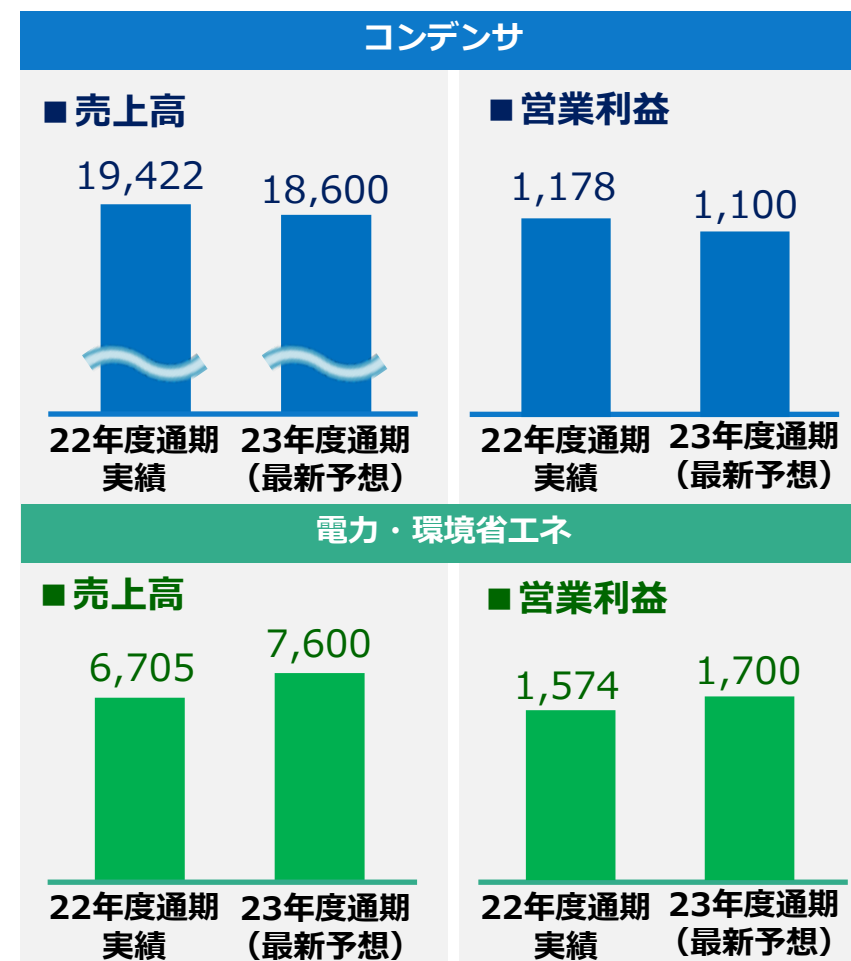
1-2. 2023年度 通期 セグメント別見通し

- ▶ コンデンサは、x E V用の減収影響により、売上高は前回予想を下回る186億円を見込む。一方、利益は、規模減や価格転嫁の遅れにより、前年度比及び前回予想には届かず。
- ▶ 電力・環境省エネは、力率改善用機器の伸長により、前回予想を上回る売上高を見込む。利益は、価格転嫁の遅れもあり、前年度は上回るものの前回予想には届かず。

【百万円】

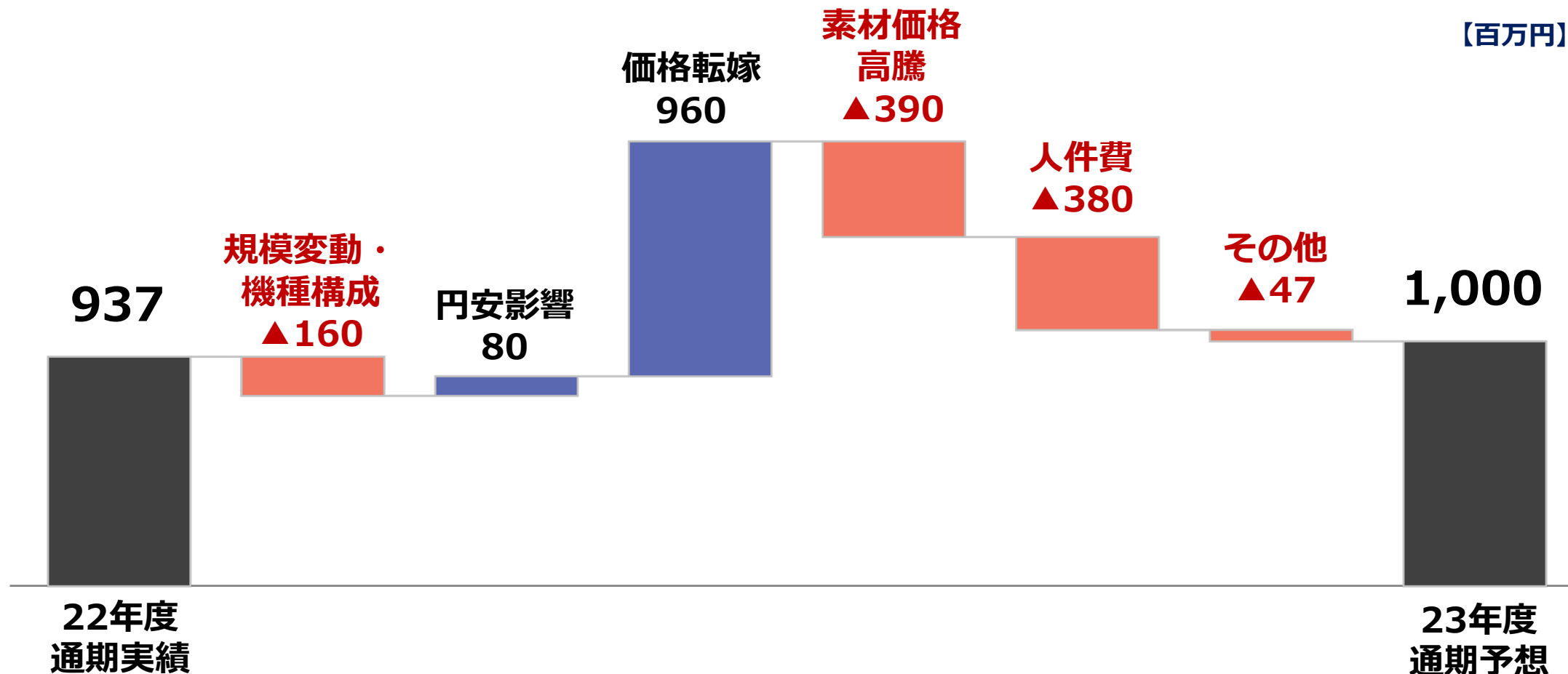
項目	セグメント	2022年度 通期	2023年度 通期		前年度比
			(前回予想)	(最新予想)	
コンデンサ	売上高	19,422	19,300	18,600	▲822 (▲4.2%)
	営業利益	1,178	1,600	1,100	▲78 (▲6.7%)
	営業利益率	6.1 %	8.3 %	5.9 %	-
電力・環境省 エネ	売上高	6,705	7,300	7,600	+895 (+13.3%)
	営業利益	1,574	1,900	1,700	+126 (+8.0%)
	営業利益率	23.5 %	26.0 %	22.4 %	-
セグメント利益の調整額		▲1,816	▲1,900	▲1,800	-

【百万円】



1-2. 2023年度 通期 損益変動分析

- ▶ 素材価格の継続的な高騰、人件費等のコスト増がある一方で、円安影響や価格転嫁が進んだ事により、ほぼ前年度並みで着地。



1-3. 設備投資・ROE・ROA・配当

- ▶ 設備投資は、次期中期計画を見据えた増産体制の投資をする。
- ▶ ROE/ROAは、改善すべく生産性の改善を進める。
- ▶ 配当は、前回公表値を据え置き年間8.5円を計画。

項目	単位	2022年度 実績	2023年度		備考
			上期	通期（年間）	
設備投資	【百万円】	1,038	968	見込 3,400	意思決定ベース
ROE	【%】	3.0	0.4	見込 1.9	—
ROA	【%】	2.7	1.1	見込 2.8	営業利益ベース
配当	【円】	9.0	3.0	計画 8.5	上期3.0+下期5.5
配当性向	【%】	39.0	86.5	54.7	—

<補足> 事業別売上推移

【百万円】

重点事業		2021年度					2022年度					2023年度		
		実績											予想	
		1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	年間
コンデンサ	産業機器	1,402	1,543	1,743	1,910	6,598	1,879	2,099	2,202	1,982	8,163	2,206	2,380	9,100
	自動車 (xEV)	1,753	1,609	1,940	1,733	7,035	1,628	1,644	1,956	1,754	6,984	1,442	1,213	5,400
	その他	1,021	938	1,090	1,155	4,204	960	1,000	1,139	1,174	4,274	1,047	995	4,100
	合計	4,176	4,090	4,773	4,798	17,837	4,468	4,744	5,297	4,911	19,422	4,695	4,588	18,600
電力機器	電力 (国内)	965	1,153	1,379	1,234	4,731	1,022	1,172	1,451	1,377	5,026	1,086	1,435	5,600
	電力 (海外)	148	98	138	272	656	246	192	160	157	755	162	184	750
	環境省工ネ	71	96	66	70	303	181	333	104	143	763	168	321	970
	その他	28	103	90	126	347	5	89	21	45	162	40	68	280
合計	1,212	1,450	1,673	1,702	6,037	1,456	1,787	1,738	1,723	6,705	1,456	2,008	7,600	
総合計		5,388	5,540	6,446	6,500	23,874	5,925	6,531	7,035	6,634	26,127	6,151	6,596	26,200

1. 2024年3月期（2023年度）第2四半期 経営概況（総括）
2024年3月期（2023年度）通期 最新見通し
2. **中期経営計画 第Ⅱ期の進捗と取り組み**

※業績数字について、次頁から四捨五入で表記しております。

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み

長期経営ビジョン

挑戦する社風へと変革し、品質第一のモノづくりと、未来を見据えた新技術・新商品の開発、グローバルな事業展開の推進により、社員の夢を実現し社会に貢献する企業グループになる

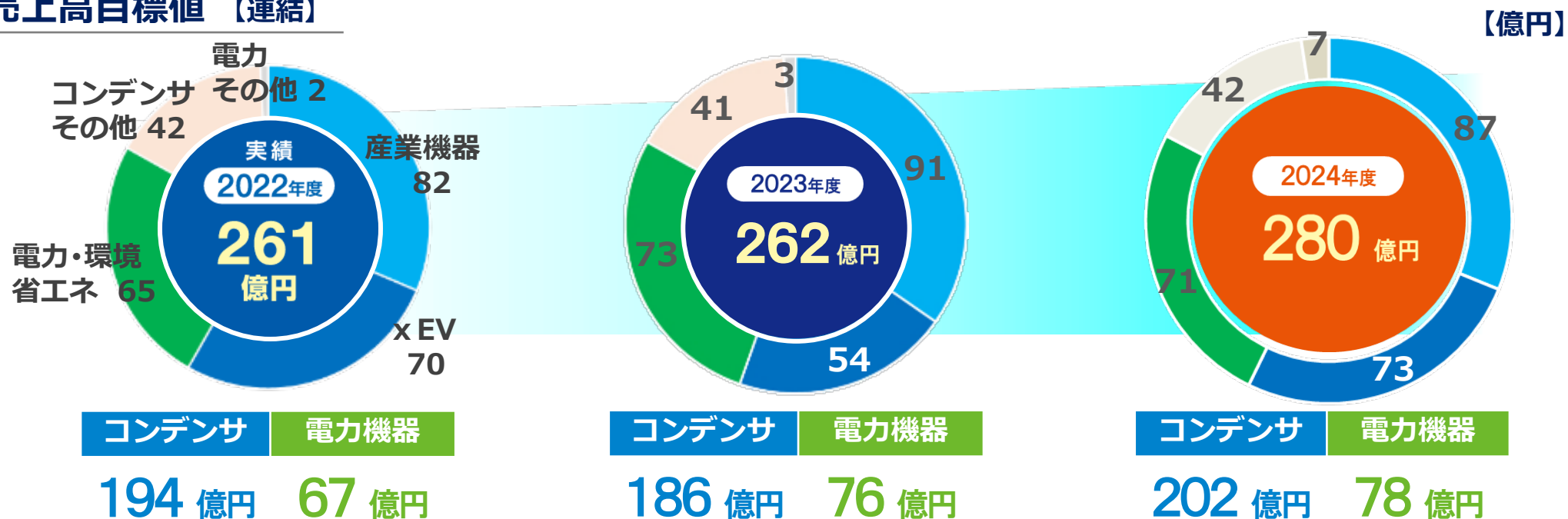
中期経営計画

第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

売上高目標値【連結】



- ▶ 第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため事業拡大を強力に推進する。また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑む。

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み

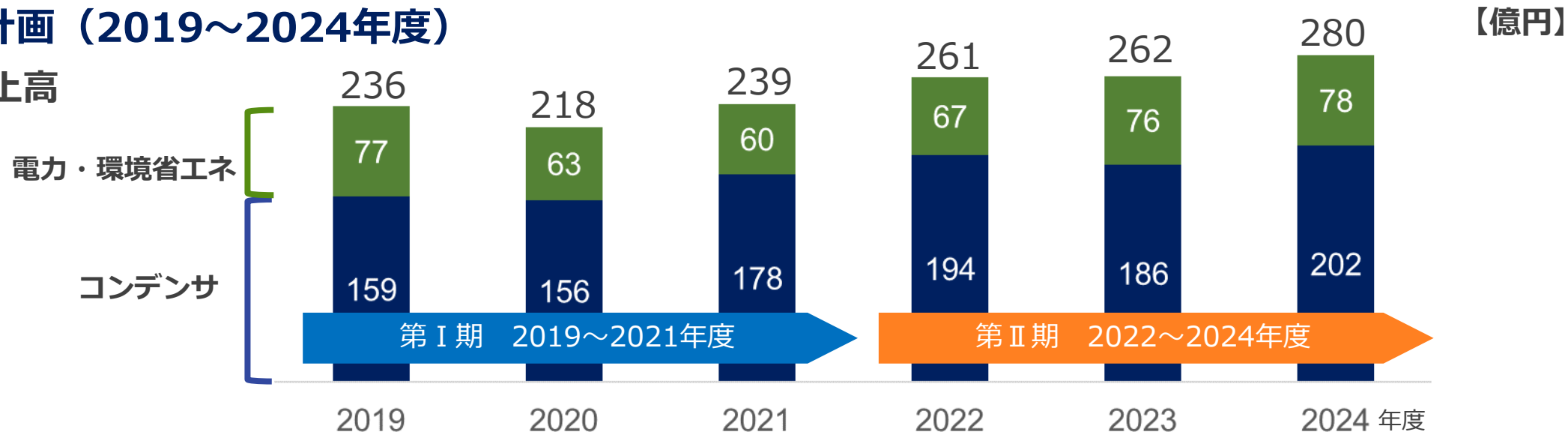
- 24年度で、売上高280億円、営業利益率8%超をめざす。
- 配当は、事業拡大のための設備・研究開発投資、人的な面の手当を考慮しつつ、株主様への利益還元を進めていく。

項目	単位	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度		2024年度
				前回発表計画 (23年5月)	23年11月発表 見通し	
売上高	【億円】	239	261	266	262	280
コンデンサ	【億円】	178	194	193	186	202
電力機器	【億円】	60	67	73	76	78
営業利益	【億円】	10	9.3	16	10	23
営業利益率	【%】	4.2%	3.6%	6.0%	3.8%	8.1%
配当性向	【%】	29.6%	39.0%	31.1%	54.7%	30% ↗

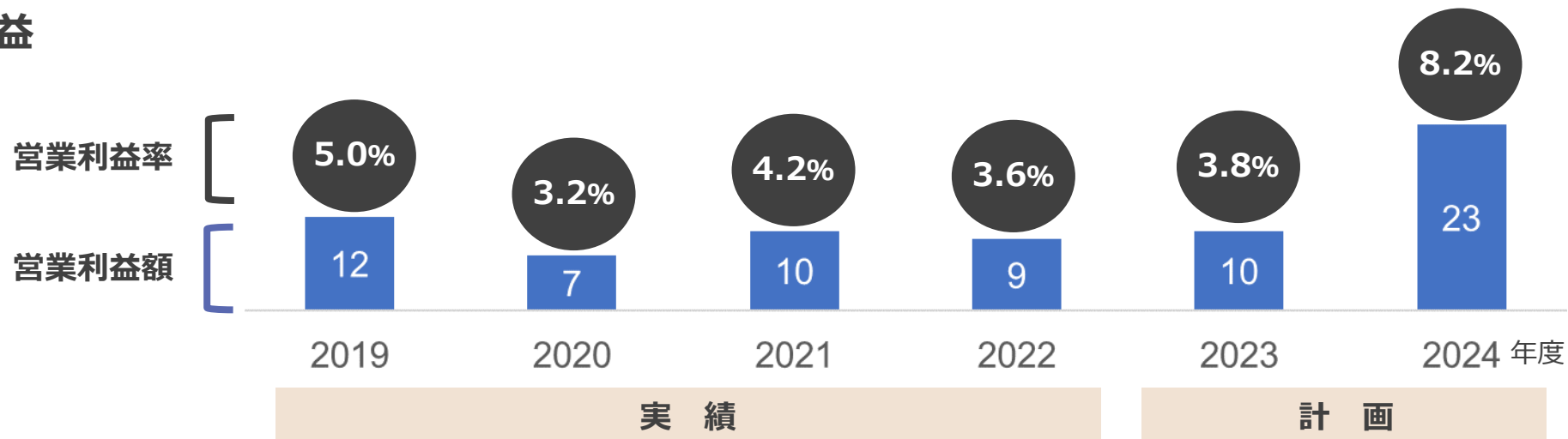
2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み

実績と計画 (2019~2024年度)

■ 売上高

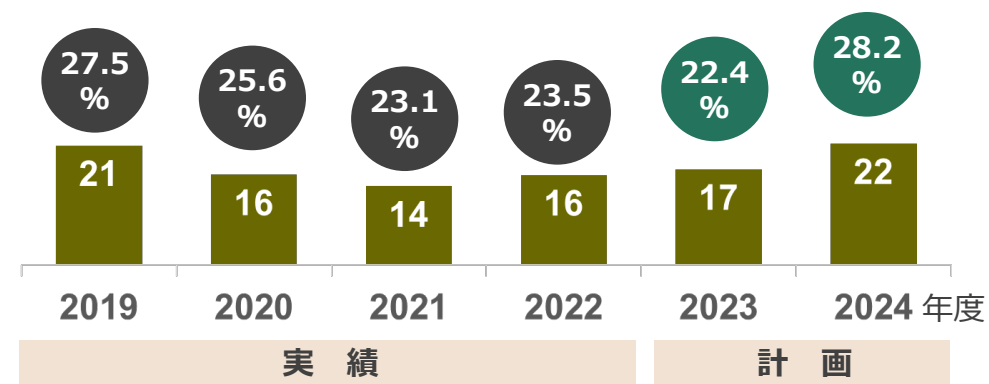
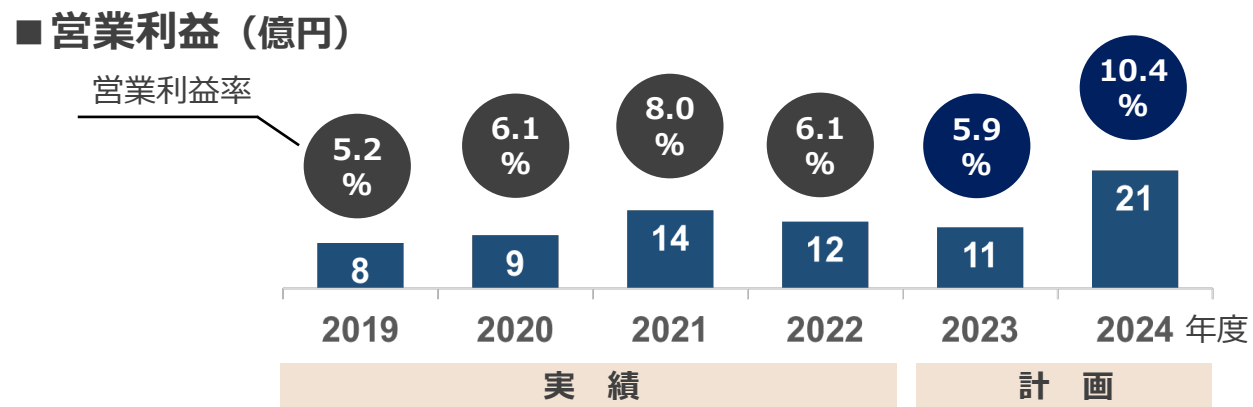
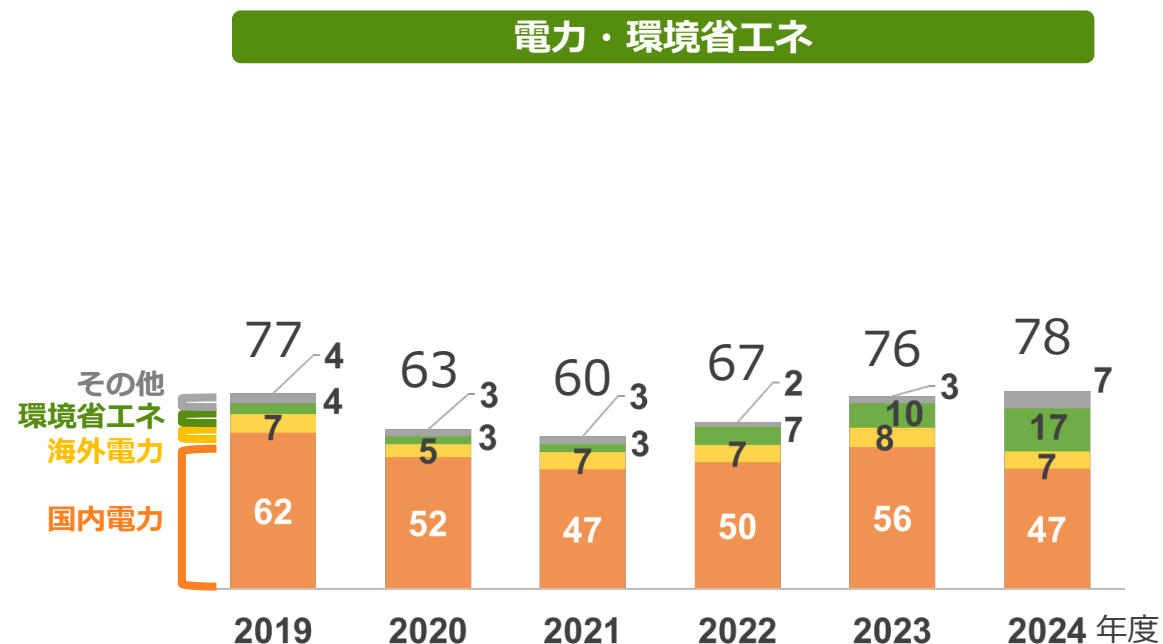
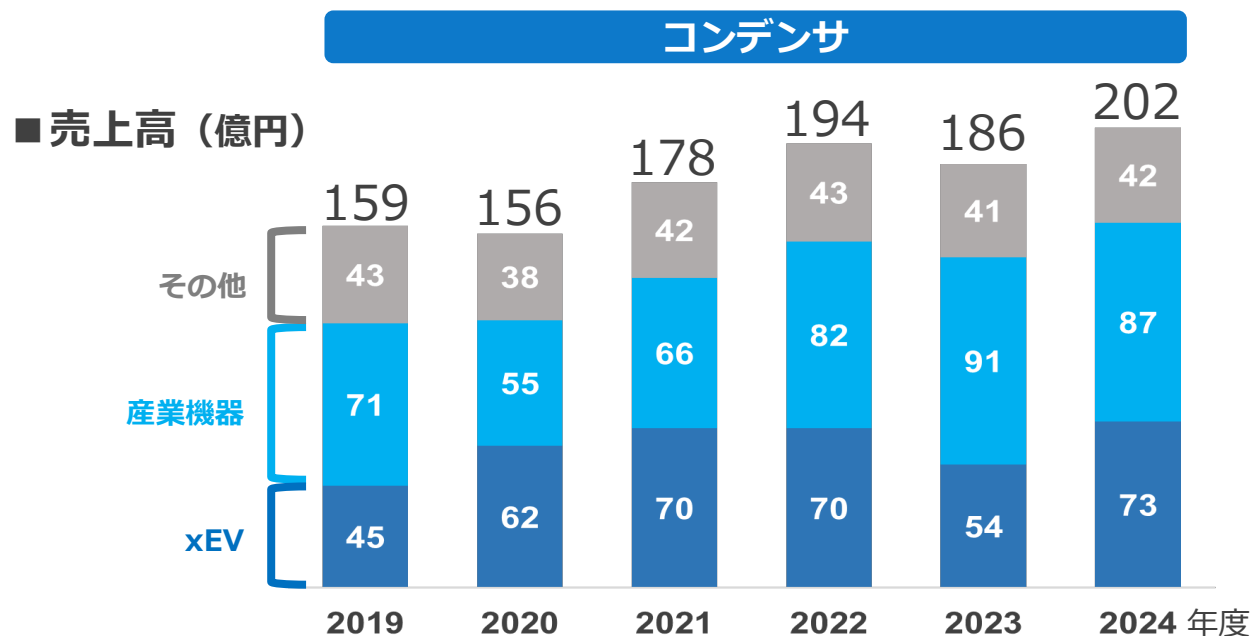


■ 営業利益



▶ 売上規模の拡大に合わせて生産性を向上し、2024年度に営業利益率8%台を達成する。

2. 中期経営計画 第Ⅱ期の取り組み



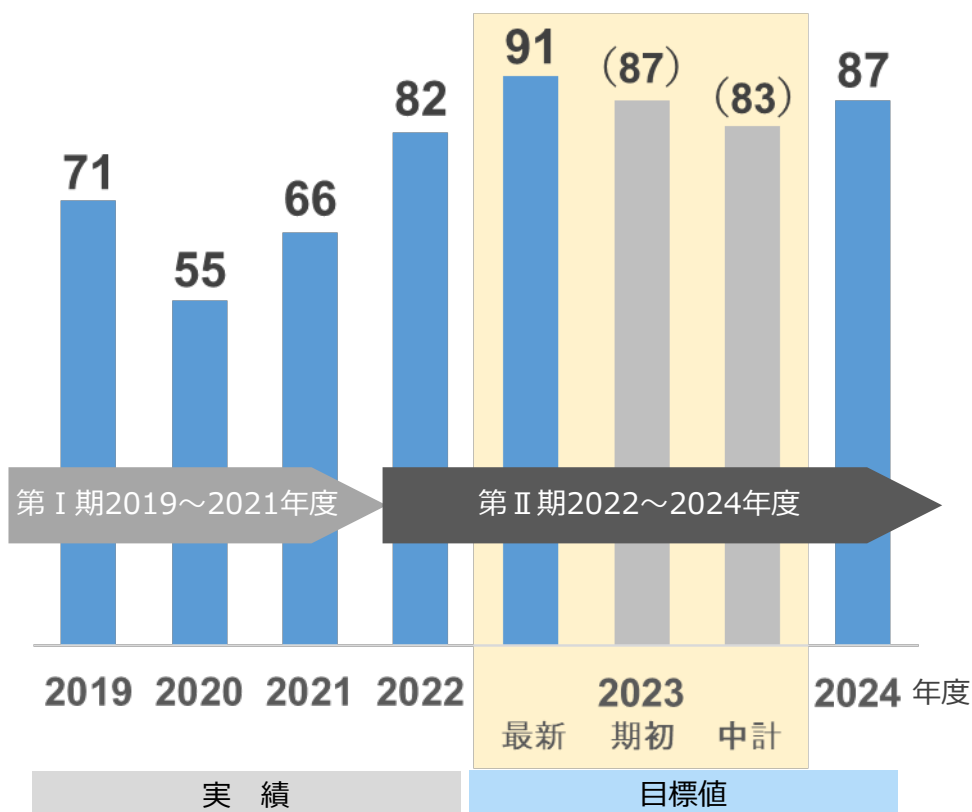
- ▶ コンデンサにおいては、xEV用製品で培った生産ノウハウの横展開により収益性の向上を狙う。
- ▶ 電力機器においては、既存品の原価抑制と高付加価値商品の販売拡大により高い利益率の維持を狙う。

2-1. 中期経営計画 産業機器

<h3>基本方針</h3>	<p>顧客対応力の強化を図り、市場ニーズを具現化する要素技術と業界No.1のカスタマイズ力を実現し、成長軌道への回帰を果たす。</p>
<h3>目標</h3>	<p>インフラ用フィルムコンデンサにおいてトップクラスの企業となる。 1) 海外シェアの拡大 2) 国内TOPシェアの獲得と維持</p>



連結売上高（産業機器）【億円】



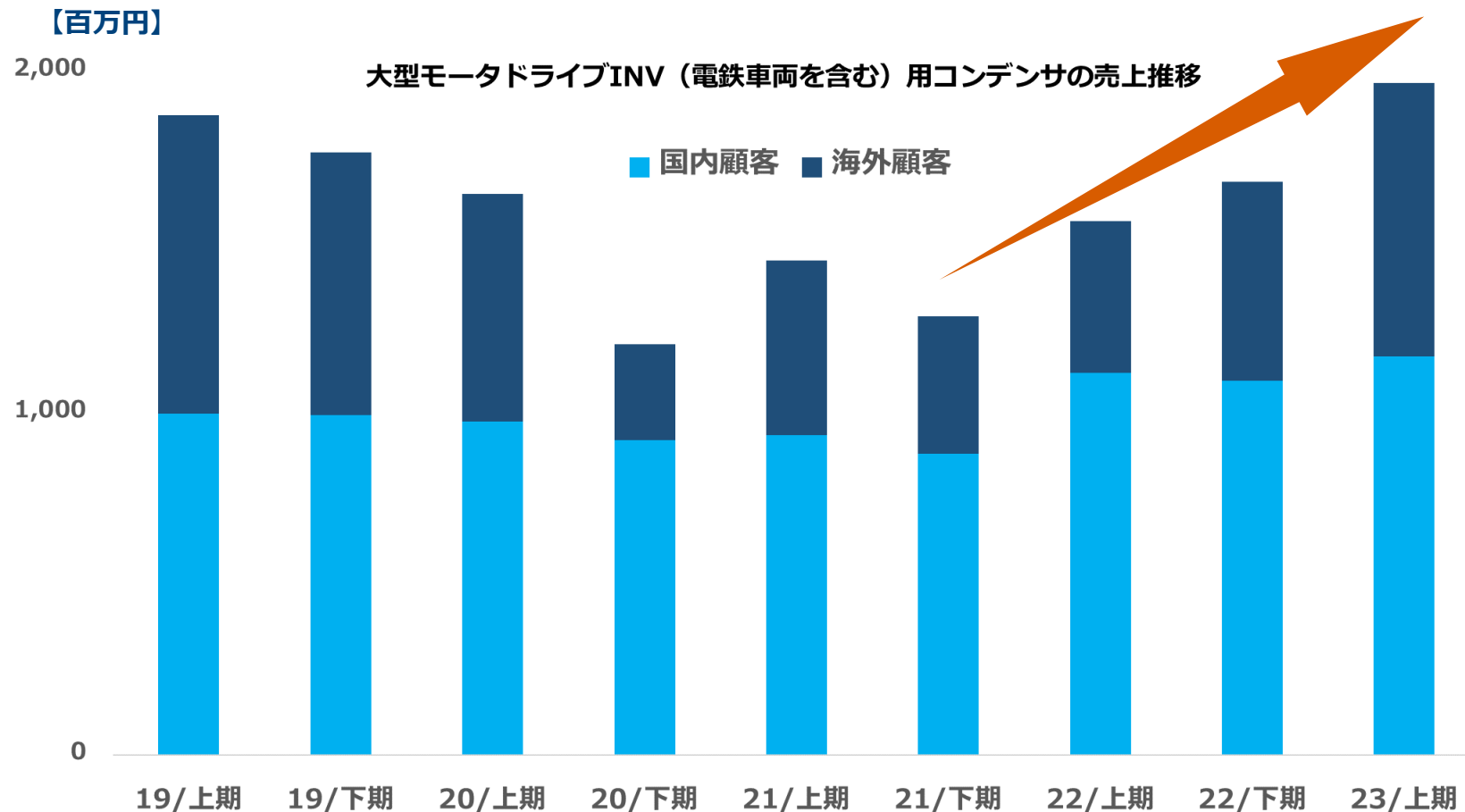
トピックス

- 大型モータードライブINV用コンデンサの受注拡大**
 - ・ 下火となっていた海外市場の需要がV字回復
- 大型パワエレ用コンデンサの増産**
 - ・ 主力製品の生産能力を23年度中に1.3倍に引上げ
 - ・ 中期計画第Ⅲ期に向けてさらなる増産を計画中

2-1. 中期経営計画 産業機器

■大型モータドライブINV※（電鉄車両を含む駆動系INV）用コンデンサの増産

需要はV字回復、さらに今後に向けた増産体制を構築中



※大型モータドライブINV（インバータ）
新幹線などの電鉄車両のモータや、鉄鋼の
圧延用などに代表される大型のモータを効率よ
く制御する電力変換装置。

2-2. 中期経営計画 xEV

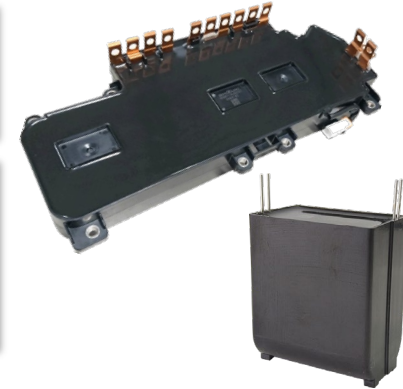
基本方針

市場シェアの獲得により、業界での存在感と影響力をもつポジションを確立する

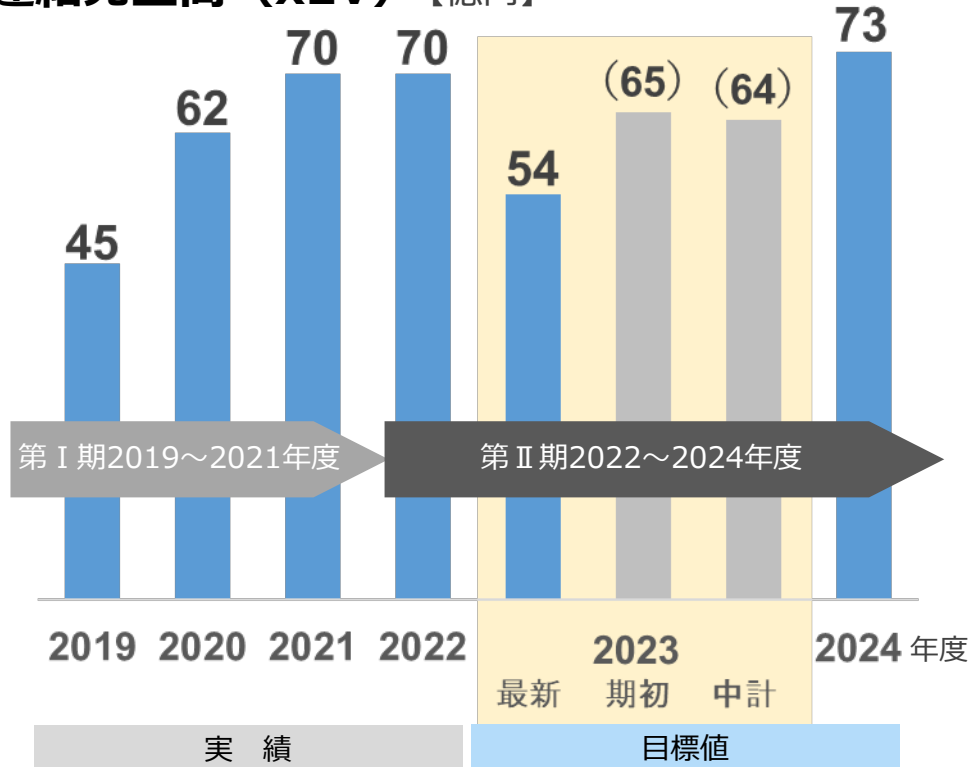
目標

世界シェア15%以上の獲得

- 1) 事業運営の効率を追求し、競争力の向上を図る
- 2) 長期視点とxEV事業の特性に即した投資を実施する



連結売上高 (xEV) 【億円】



トピックス/概況

■ 短期/中期の需要動向について

- ・ 短期的には在庫調整等の影響により需要が減少
- ・ 中期的な需要は引き続き旺盛であり、リソース拡充による対応力の増強を目指す

■ 生産能力の増強に向けた投資

- ・ 第一弾 秋田指月 新工場の建設に着手
- ・ 第二弾 国内に新工場の建設を計画中

2-2. 中期経営計画 xEV

■ xEV用コンデンサ生産能力増強計画

【秋田指月 新工場の増設】

- ▶ 立地：秋田県雄勝郡羽後町
秋田指月（株）既存工場の隣接地
- ▶ 着工：2023年10月 着工開始

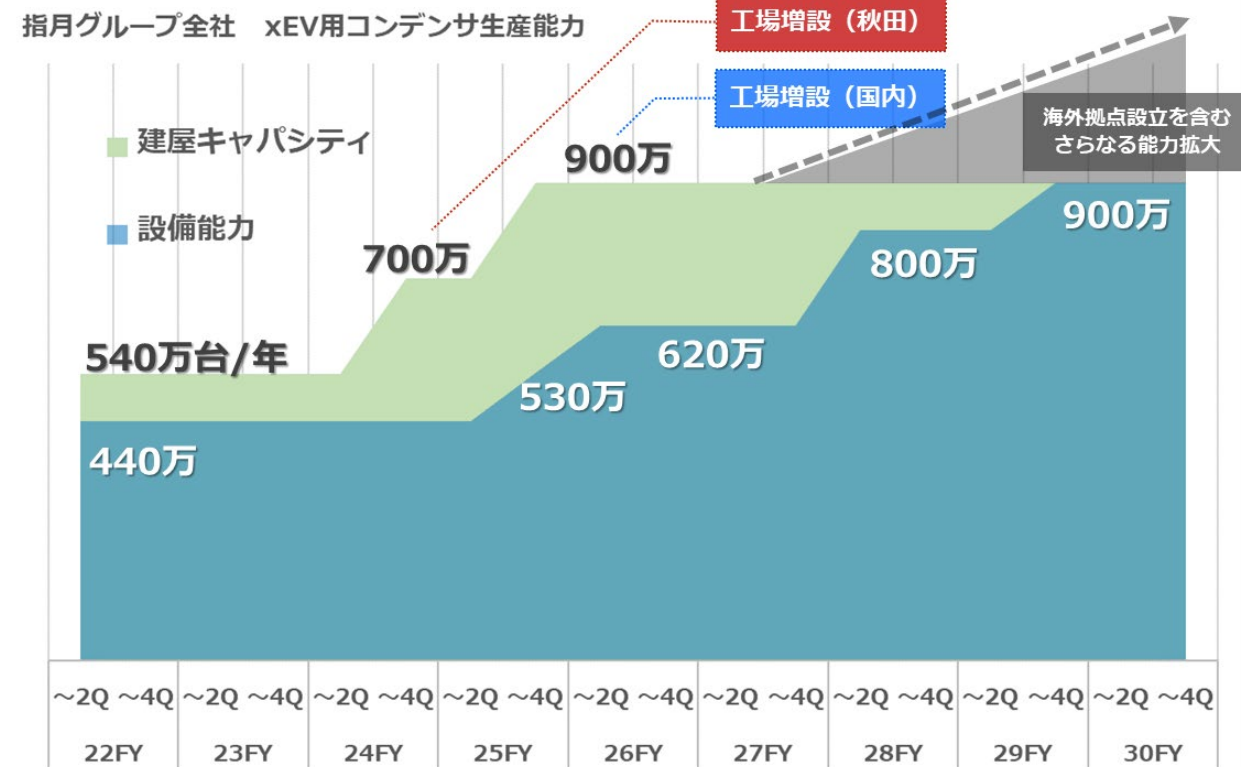


秋田指月新工場建設の様子(2023年11月撮影)

- ▶ 竣工：2024年秋予定
(翌年から徐々に稼働予定)
- ▶ 延床面積： 約5,000m² (平屋)

【国内 新工場の増設】

- ▶ 工事開始予定：2024年中
- ▶ 延床面積： 計画中
詳細な時期や規模が確定次第、開示します。



2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

基本方針

EMS、電力供給市場の変化を捉え、新商品提案による市場創出と既存商品の付加価値向上による利益拡大を両立させ、事業拡大を目指す。

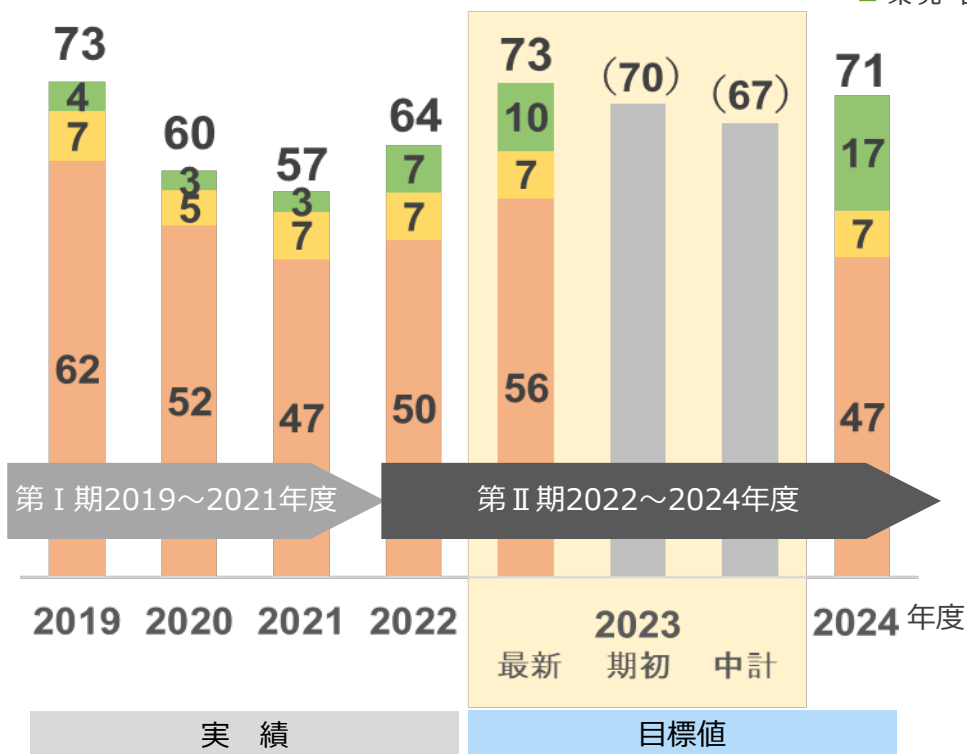
目標

1. 新規事業の創出：環境・省エネの新たなニーズに応える新商品の事業化
2. 既存事業の収益性向上：商品力強化による付加価値向上と原価低減



連結売上高（電力・環境省エネ）【億円】

■ 国内電力
■ 海外電力
■ 環境・省エネ



トピックス

コロナ禍で激減していた、省エネ、障害対策などへの設備投資が復調の兆し。

■ 回生電力再利用のビジネスを確立

- ・ 省エネ、電力再利用の引合いが増加
- ・ 機器メーカーとのタイアップによる提案活動強化

■ 瞬低対策のニーズ増加

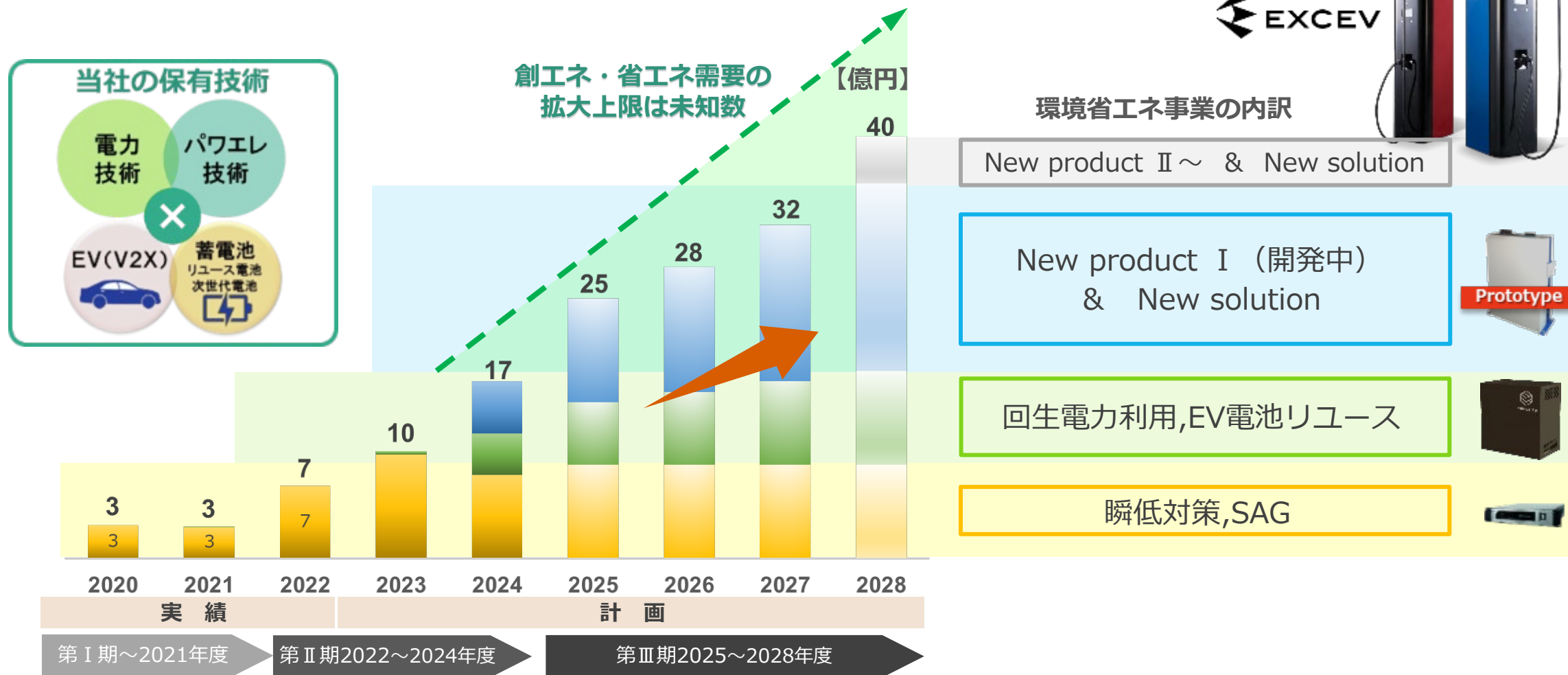
- ・ 障害対策への投資回復

■ 新商品開発/ソリューション提案

- ・ 9月、グリーンファクトリーEXPOに出展、多種多様な企業から反響があった

2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

■環境省エネ事業 長期計画



- ▶豊富な情報量：進相器ビジネスで培った販売ネットワークから洗練された情報を入手する
- ▶技術力：力率改善・高調波抑制・瞬低対策製品で培われた電力・パワエレ技術と先進技術を融合し多様化するニーズに適応

2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

取組事例：電力回生用インバータ装置 [PAR-CuBe : パルキューブ]

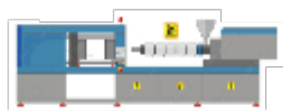
トヨタ自動車株式会社様での実証試験 / 共同特許権の取得

「省エネ」「BCP」に対するニーズと需要の高まりへ対応

- ・工場内の工作機械（※1）や搬送機などに取り付け、回生電力（※2）を利用し電力を有効活用する。
- ・蓄電機能により、災害時にはスマートフォンやPCなどへ電力供給が可能。
- ・各企業のニーズにあわせたカスタム対応で、最適製品を提供し顧客満足の実現。



金属加工設備



射出成形機



繊維機械



プレス機

※1 省エネへの寄与が期待できる工作機の例

※2 機械や設備の減速や下降時に発生するエネルギーを電力として貯め再利用するもの。

①工場設備の電力回生

トヨタ自動車様（元町工場）において、電解コンデンサを用いた電力回生インバータ装置の開発と実証試験を実施。この実証試験において、省エネ効果が確認出来ました。今後、さらに、トヨタ自動車様の他工場への展開を検討中です。



トヨタ自動車 元町工場

出典：トヨタ自動車ホームページ



元町工場での実証試験装置

②トヨタ自動車様と共同特許権の取得

2023年7月 公開特許

「製造装置及びシステム（公開番号：特開2023-096650）」
回生電力を蓄電し、再利用する装置やシステムに関する特許。

2-3. 中期経営計画 電力・環境省エネ

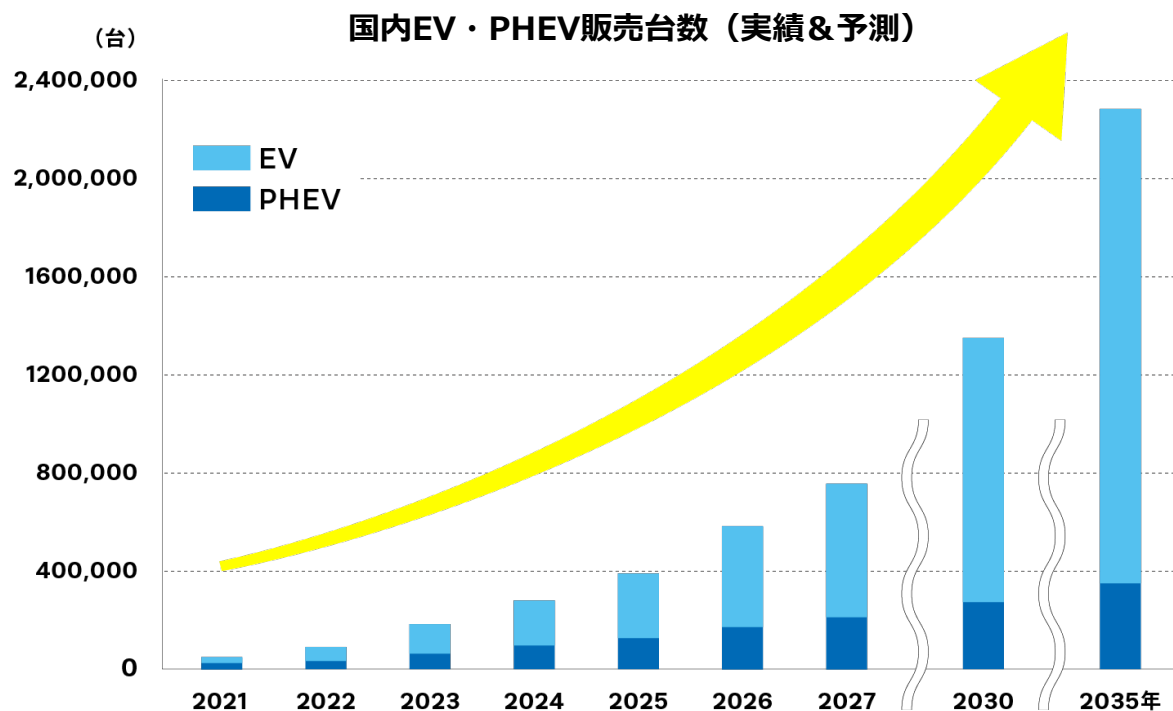
取組事例：V2X対応EV用充放電器 [EXCEV：エクシーブ] 開発中

EVに蓄えた電力を有効活用するためのソリューション

当社はEVが蓄えている電力をさまざまなシーンで活用するソリューションを提案。電力を「蓄電システム」「非常用電源」などで活用することが可能です。



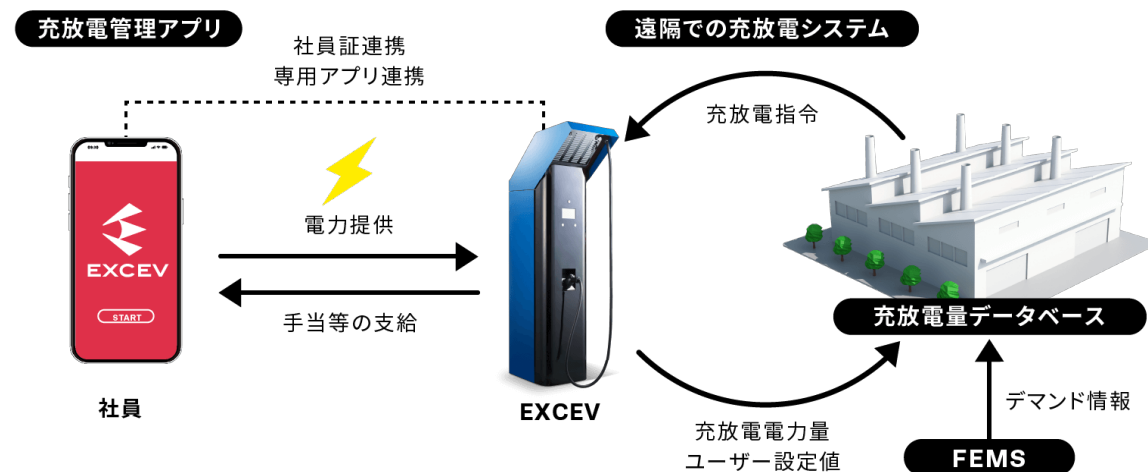
9月 グリーンファクトリーEXPO出展時の当社ブース



出典元：（株）富士経済「2023年版HEV, EV関連市場調査」をもとに当社が作成

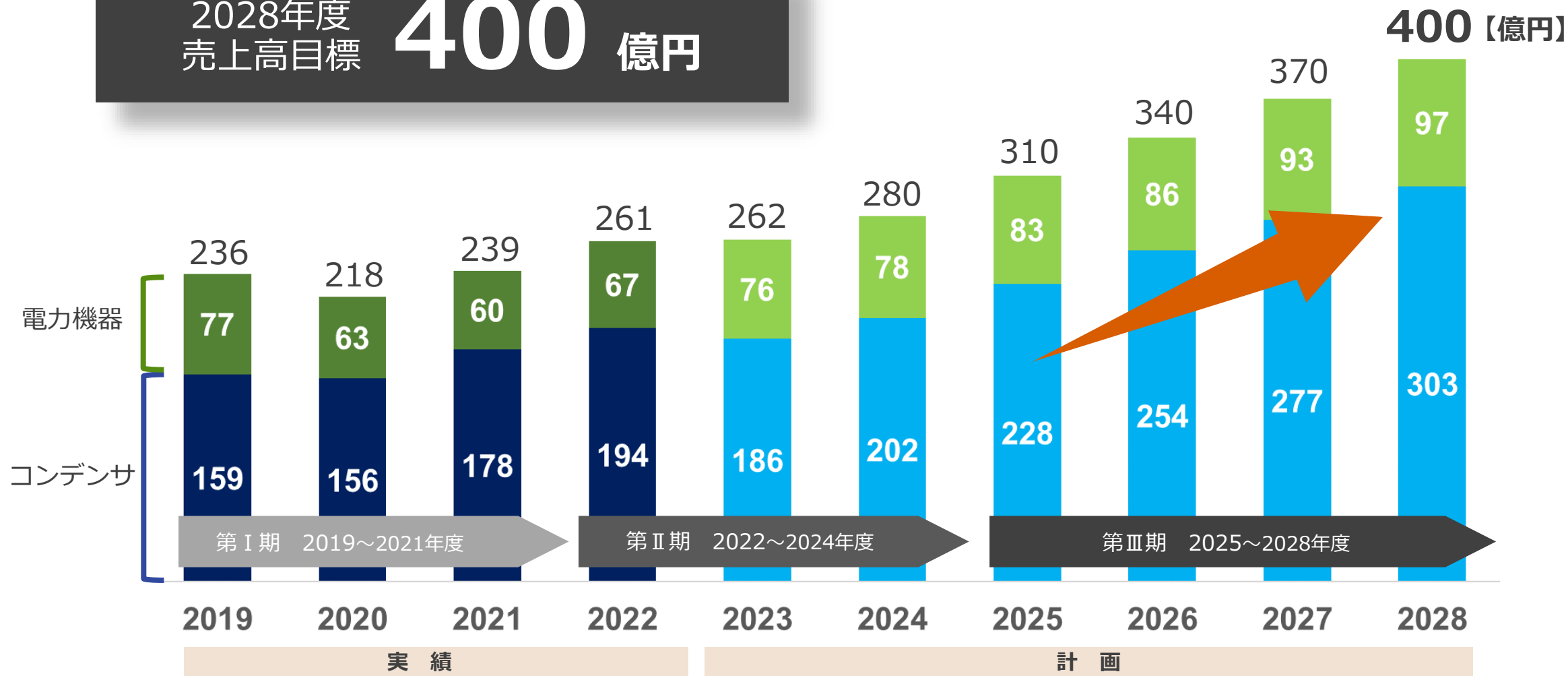
【活用例：事業所向け】

事業所の従業員用駐車場にEXCEVを設置。自家用車の電気を事業所に供給してもらい、電力ピークカットなどに活用。その代わりに供給電力に応じた手当を支給したり、優先駐車スペースを利用できるなどの取り組みが可能。



2-4. 中期経営計画 2028年度までの売上高目標

2028年度
売上高目標 **400** 億円



▶中期計画最終年度の売上高目標を400億円とし、生産能力ならびに戦力の増強を進める。

2-5. 中期経営計画 ESG・SDGsの取り組み

シヅキグループは、事業推進をとおして環境や社会に関わる課題解決を目指すとともに、SDGsの達成に向けたESG経営を推進し、持続的成長と企業価値の向上を実現いたします。

E

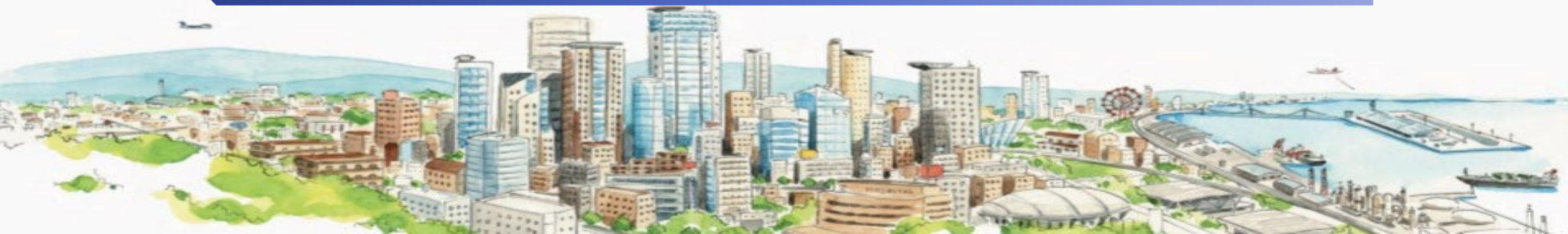
- 1) 事業活動をとおして、省エネ技術の普及とCO₂削減へ貢献する
- 2) 自社でのCO₂排出量の削減と環境に配慮した材料等の検討を進める

S

- 1) 多様な人財・能力・働き方を尊重し、イノベーティブな企業を目指す
- 2) 人財育成により高い技術力を獲得し、社会インフラの安定化に貢献する
- 3) 一層の品質レベル向上により顧客満足の向上を図る

G

- 1) 市場の要請に迅速に応える運営体制を構築する
- 2) 全方位でのパートナーとの連携を強化、拡大する
- 3) 企業価値向上視点を盛り込んだコンプライアンス経営を拡大展開する



主なマテリアリティ（重要課題）に対する取り組み

E ×



1) 省エネ技術の普及とCO₂削減への貢献

環境負荷低減に貢献する商品の販売拡大

- ① x EV市場向けコンデンサ
- ②再生可能エネルギー市場向けコンデンサ
およびシステム商品
- ③電力回生、省エネ用システム商品

2) 自社でのCO₂排出量の削減

- ・製造時の排出量削減
- ・輸送にかかる排出量の削減

S ×



1) 多様な人財・能力・働き方の尊重

- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - ①女性活躍の推進
 - ②障がい者自立支援
- ・ワークライフバランスの実現
 - ①年休取得の推進、男性育児休業取得の推進
 - ②柔軟な働き方の選択

2) 人財育成による高い技術力の獲得

- ・有識者の顧問契約を活用した技術者育成
- ・共創イノベーションの推進

2-5. 中期経営計画 ESG・SDGsの取り組み

- 2023年6月発行の有価証券報告書に「サステナビリティに関する考え方及び取組」を掲載。
(詳細は当社HP「2023年3月期(第95期)有価証券報告書」をご覧ください。)

▶気候変動への取組み <抜粋版>

項目	内容	指標
CO ₂ 排出量削減 (エネルギー原単位あたり 2020年度比)	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器の導入、生産体制の見直し、再生エネルギー機器の導入等 既存の太陽光発電設備の自家消費への切り替え、カーボンオフセットの導入、更なる再生エネルギー機器の導入等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 実績(2022年度) : △10% 目標(2030年度) : △30%

▶人的資本に関わる方針と展開施策 <抜粋版>

項目	内容	指標
教育体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 教育制度全体を全社レベルで刷新(2021年度) 主体的な取組みへの意識づけ、「挑戦」する人財の創出 グループ共通の「OJTの指針」を策定済、新人教育担当者の研修新設等、教育の底上げ、指導者側の能力向上等の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講報告書による定量把握開始(理解度、業務活用度) 従業員意識調査(前回との差異検証) 目標: 2024年度肯定評価50% 2028年度肯定評価70%
人財育成推進を支える人事処遇制度の見直し等	<ul style="list-style-type: none"> 現状以上に成果や「挑戦」に報いる人事処遇制度変更の検討 従業員のキャリアアップ、経験値向上に資する部署横断の育成的人員配置推進 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職、管理職候補層の女性比率向上 実績: 2022年度管理職候補層11.8% 2022年度管理職3.5% 目標: 2028年度管理職候補層30% 2028年度管理職10%
多様性・女性活躍への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度より「女性活躍推進ワーキングチーム」を発足、活動中。女性活躍を推進する上での意識の向上、障害の排除を進め、管理職候補層を拡大 	

注意事項

この資料に記載されている、当社および当社グループに関する業績見通し、計画、経営目標、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、あくまでも将来の業績などに関する見通しであり、それらは各資料の作成時点において入手している情報と一定の前提に基づき作成されております。従いまして、実際の業績は経済環境、市場動向、製品の需要変動、価格変動、為替レートの変動などの重要なリスク要因や不確実な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますのでご注意ください。

SHIZUKI ELECTRIC CO.,INC.